



今年もやります！ ザリガニ釣り！
(写真は昨年の様子)

県民の森 だより 7 2018 月号

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

梅雨明けの待たれる日々が続いている今日この頃です。園内では今、動植物達が五感を満たしてくれるように、耳を澄ませば夏鳥の声、見上げればネムノキやムラサキシキブ、足元のヤマユリやオカトラノオの花を愛でながら、こもれびの下、時を忘れて散策してみませんか。(所長：蜂谷仁)

ツキノワグマ目撃情報に伴うフィールドアスレチック・周辺遊歩道の閉鎖を解除しました

5月28日(月)、フィールドアスレチックを含む園内で、立て続けに3件の子グマの目撃情報があり、安全確保のため、アスレチックと周辺遊歩道を当面使用中止としました。

以後、目撃現場周辺の草刈りを行い、周囲の見通しを良くすることでヤブからクマが急に飛び出してくる状況を防止し、巡視を強化すると共に注意喚起の看板を追加し、その後の目撃情報がないことから、当面の危険性はないとして、6月12日(火)、閉鎖を解除致しました。閉鎖中にご来園頂いた皆様には大変ご不便をお掛け致しました。

今後は、アスレチック内に適宜放送を入れて利用者の注意喚起を行い、見回りを継続して参りますが、もし万が一クマの目撃情報があった場合には、再度閉鎖するかと検討する予定です。



閉鎖解除後、親子連れでにぎわう
フィールドアスレチック

今月のけんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのはとこま



ヒメコウソ (クワ科)
楳 別名コウソ

古くは和紙や織物の原料に利用されていました。花や果実がない時期はヤマグワにやや似て、混同します。果実は集合果で甘く食べられますが、棘のような花柱が残る、口当たりがあまりよくないです。(駒野)



ヤマグワ (山桑)
別名：クワ

山野に生える野生のクワ。中国原産のマグワと共にカイコの飼料として広く栽培されていました。果実はジャムなどの食用に活用される。子供の頃クワの実を食べるの周りを紫色にし、スポンのポケットにいれ紫色にした記憶があります。(駒野)



アジサイ (アジサイ科)
紫陽花

梅雨期に咲く代表的な花です。アジサイはガクアジサイの花序全体が装飾花に変化したもので、原産地は日本、ヨーロッパで改良され、セイヨウアジサイとして逆輸入され、ハイドランジャと呼ばれています。普通、私たちが花と思っているのは装飾花で、ガクの変化したものです。また、雌しべ、雄しべがありますが結実しません。(駒野)



クロツグミ (ヒタキ科)

今年は例年になく、姿を頻りに現してくれました。ミミズや昆虫類を地上で採食する様子は、冬鳥のツグミを思い出させますが、鳴き声はツグミよりとても美しく、オオルリやキビタキのさえずりと共に、森の中に心地よく響き渡り、来園者を癒してくれています。(入岡)



ヤマアカガエル (アカガエル科)

ヤマアカガエルの特徴は、目の後方からのびる背側線が、鼓膜(黒い部分)の背側で左右が近づくように曲がります(よく似たニホンアカガエルは線がまっすぐ)。芝生広場を歩くたびに、ぴょんぴょんとたくさんの亜成体が姿を現していました。(入岡)



ジャガイモの実 (ナス科)

青少年の森にある畑では、「もりもり教室」で植えた、ジャガイモやサツマイモが元気に育っています。畑の管理人・N夫妻がおもむろに取り出してきたのがこの実。一見プチトマトのようですが、ジャガイモの実なのだそう。初めて見ました！ キタアカリには実がなりやすいようです。(入岡)

県民の森名木紹介 vol.44 ヤマボウシ

事務所正門のすぐ北側を枝全体に白い花?を咲かせ目立つ一画に仕立てていた一本がありました。ヤマボウシです。

例年はない今年の咲きっぷりは、元々花の少ない時期の中でひと際目立ちました。総苞片と呼ばれる白い4枚を法師の頭巾に見立てたのが名前の由来とか、。

園内では、2号幹線沿いで自生らしい数本を見る事ができます。(工藤)

